

交換職-設定マニュアル（基本設定編）

■本資料は、交換職を利用するにあたり基本となる設定項目について、設定方法を記載しています。

改版履歴

版数	更新内容
1.0 版	新規作成
1.1 版	バージョン 1.4.0 に合わせて更新
1.2 版	バージョン 1.5.0 に合わせて更新
1.3 版	交換機の設定手順に電源を入れる手順を追記
1.4 版	電話機 2 ポート向けの設定について「割込音通知」のチェックを外した
1.5 版	バージョン 1.5.3 に合わせて更新
1.6 版	本文中の文言などについて、軽微な修正。
1.7 版	バージョン 1.7.0 に合わせて修正
1.8 版	バージョン 1.8.0 に合わせて更新

目次

1. はじめに.....	1
2. ひかり電話ルータの設定（[電話機 1] ポート向け）	2
2.1. ひかり電話ルータの「Web 設定」画面にログインする	2
2.2. 基本設定	2
2.3. 電話設定	2
3. ひかり電話ルータの設定（[電話機 2] ポート向け）	7
4. 交換機の設定.....	9

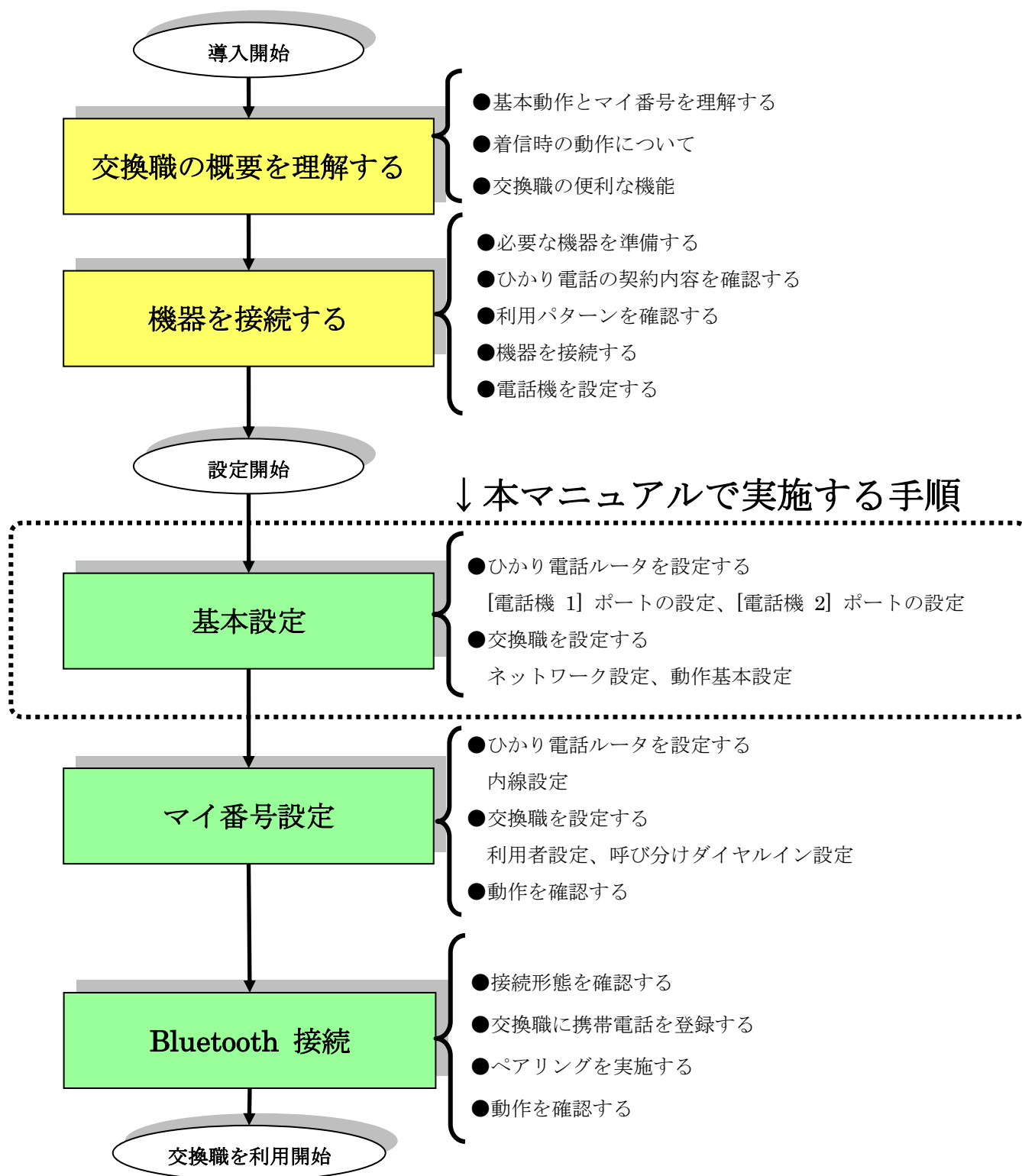
1. はじめに

本マニュアルで実施する手順について

❗ ご確認下さい

本マニュアルの 2、4 章は、必ず実施して下さい。

本マニュアルの 3 章は、[電話機 2] ポートを利用する方のみ実施して下さい。



2. ひかり電話ルータの設定（[電話機 1] ポート向け）

2.1. ひかり電話ルータの「Web 設定」画面にログインする

ひかり電話ルータの取扱説明書を参照して、パソコンの Web ブラウザからひかり電話ルータの「Web 設定」画面にログインして下さい。

② ヒント

ひかり電話ルータの IP アドレスを変更していない場合は、次の URL からログインできます。「<http://192.168.1.1/>」

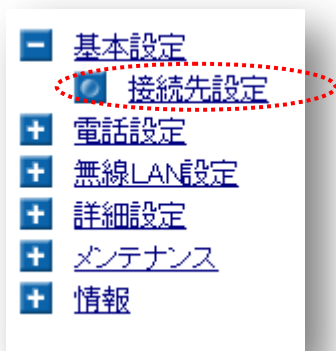
2.2. 基本設定

① ご確認下さい

既にインターネット接続設定をひかり電話ルータに設定済みの方は実施不要です。

B フレッツ、又はフレッツ光ネクストで利用可能なインターネットサービスプロバイダとご契約いただいて、インターネットに接続する設定をして下さい。

ひかり電話ルータの「Web 設定」画面の左側のメニューから、「基本設定」の「接続先設定」を選択して設定することができます。詳細は、ひかり電話ルータの取扱説明書をご参照下さい。



2.3. 電話設定

ひかり電話共通設定

交換機では、ひかり電話ルータの「優先着信ポート」機能は利用しないため「無効」に設定します。

ひかり電話ルータの「Web 設定」画面の左側のメニューから、「電話設定」 > 「ひかり電話共通設定」の順に選択して下さい。



「ひかり電話共通設定」画面で、優先着信ポートのプルダウンメニューから「無効」を選択し、「設定」ボタンをクリックして下さい。

ひかり電話共通設定

トップページ > 電話設定 > ひかり電話共通設定

[ひかり電話設定]

音声優先モード

優先着信ポート

[拡張設定]

PING応答機能 ☒ 使用する

内線設定画面の表示

ひかり電話ルータの「Web 設定」画面の左側のメニューから、「電話設定」 > 「内線設定」の順に選択して下さい。



内線番号の変更

次の手順に従い、ひかり電話ルータの内線番号の設定を交換職用に、上から順に「9」「8」「1」「2」「3」「4」「5」に設定して下さい。

1. 内線番号「1」の編集ボタンをクリックして下さい

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	IPバージョン	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	1	TEL1	アナログ端末(電話機1)	二	-	-	-	-	編集	-
<input checked="" type="checkbox"/>	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	二	-	-	-	-	編集	-
<input checked="" type="checkbox"/>	3	IP_phone1	通常端末	二	-	-	未登録	-	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	4	IP_phone2	通常端末	二	-	-	未登録	-	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	5	IP_phone3	通常端末	二	-	-	未登録	-	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	6	IP_phone4	通常端末	二	-	-	未登録	-	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	7	IP_phone5	通常端末	二	-	-	未登録	-	編集	削除

2. 内線番号を変更して下さい

【変更前】

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

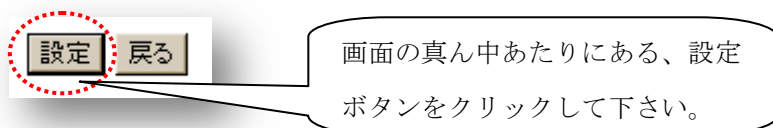
【変更後】

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

3. 設定ボタンをクリックして下さい



4. 内線番号が「9」に変更されたことを確認して下さい

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス
☑	9	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-
☑	2	TEL2	アナログ端末(電話機2)	-
☑	3	IP_phone1	通常端末	-
☑	4	IP_phone2	通常端末	-
☑	5	IP_phone3	通常端末	-
☑	6	IP_phone4	通常端末	-
☑	7	IP_phone5	通常端末	-

- 1～4 の手順を繰り返して、内線番号を上から順に「9」「8」「1」「2」「3」「4」「5」に設定して下さい
- 7 段全ての内線番号を変更したら、内線番号が次のように設定されていることを確認して下さい

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス
☑	9	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-
☑	8	TEL2	アナログ端末(電話機2)	-
☑	1	IP_phone1	通常端末	-
☑	2	IP_phone2	通常端末	-
☑	3	IP_phone3	通常端末	-
☑	4	IP_phone4	通常端末	-
☑	5	IP_phone5	通常端末	-

指定着信機能の設定

次の手順に従い、着信時に、ひかり電話ルータから直接[電話機 1] ポートの電話機が呼び出されない設定に変更して下さい。

② ヒント

[電話機 1] ポートの電話機は、交換機が内線「9」の端末として呼び出します。

- 一番上の内線番号「9」（「端末属性」が「アナログ端末（電話機 1）」）の編集をクリックして下さい

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	IPバージョン	編集	削除
☑	9	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-				-	編集	-

内線番号「9」の段の編集
をクリックして下さい。

- 内線番号「9」の設定を変更して下さい

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☐ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

このように設定して下さい。

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0312345678	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="IR"/>
0312345679	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="IR"/>
内線	-	-				

編集が完了したら、設定ボタンをクリックして下さい。

このように設定して下さい。

※「通知番号」「着信番号」は電話機で直接外線番号をダイヤルした時に、相手に通知したい電話番号 1 つのみにチェックして下さい。

3. 利用有無をチェックして下さい

[内線番号一覧]

「利用有無」が一番上の段のみチェックして下さい。

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	IPバージョン	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	9	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-	-	-	-	-	編集	-
<input type="checkbox"/>	8	TEL2	アナログ端末(電話機2)	-	-	-	-	-	編集	-
<input type="checkbox"/>	1	IP_phone1	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除
<input type="checkbox"/>	2	IP_phone2	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除
<input type="checkbox"/>	3	IP_phone3	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除
<input type="checkbox"/>	4	IP_phone4	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除
<input type="checkbox"/>	5	IP_phone5	通常端末	-	-	-	未登録	-	編集	削除

チェックしたら、設定ボタンをクリックして下さい。

3. ひかり電話ルータの設定（[電話機 2] ポート向け）

❗ ご確認下さい

ひかり電話ルータの[電話機 2] ポートに FAX 機器等を接続して利用する場合のみ、本章の設定を実施して下さい。

ひかり電話ルータの「Web 設定」画面で次の設定を行って下さい。

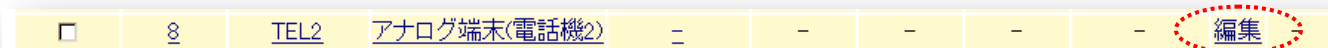
電話設定

ひかり電話ルータの「Web 設定」画面の左側のメニューから、「電話設定」 > 「内線設定」の順に選択して下さい。



次の手順に従い、[電話機 2] ポートの機器向けに設定を実施して下さい。

1. 内線番号「8」の編集をクリックして下さい



2. 内線番号「8」を設定して下さい

交換機は[電話機 2] ポートの動作に関係しません。ひかり電話ルータのマニュアルを参照して、FAX 機器やプライベートな電話機等に合わせて、ご自由に設定して下さい。

⚠ ご注意下さい

内線番号「8」の「通知番号」と「着信番号」には、FAX 専用の番号などにのみチェックを入れ、交換機の転送機能等を利用する電話番号にはチェックを入れないで下さい。

【FAX 機器用に設定した場合の例】

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末2)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☐ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☐ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
0312345678	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	IR <input type="text"/>
0312345679	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	IR <input type="text"/>
内線	-					SIR <input type="text"/>

FAX 専用の電話番号のみにチェックを入れる

3. 利用有無をチェックして下さい

[内線番号一覧]

利用有無	内線番号	ニックネーム	端末属性	MACアドレス	優先着信	指定着信	登録状態	IPバージョン	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	9	TEL1	アナログ端末(電話機1)	-	-	有効	-	-	編集	-
<input checked="" type="checkbox"/>	8	TEL2	アナログ端末(電話機2)	-	-	-	-	-	編集	-
<input type="checkbox"/>	1	IP_phone1	音声専用端末	-	-	-	-	-	編集	削除
<input type="checkbox"/>	2	IP_phone2	音声専用端末	-	-	-	-	-	編集	削除
<input type="checkbox"/>	3	IP_phone3	音声専用端末	-	-	-	-	-	編集	削除
<input type="checkbox"/>	4	IP_phone4	音声専用端末	-	-	-	-	-	編集	削除
<input type="checkbox"/>	5			-	-	-	-	-	編集	削除


内線番号「8」の「利用有無」に
チェックして下さい

チェックしたら、設定ボタン
をクリックして下さい


設定

4. 交換機の設定

① ヒント

交換機の「Web 設定」画面にある  をクリックすると、各設定項目の説明を確認できます。

交換機の電源を入れる

交換機本体の電源ボタン  を押して下さい。電源ボタン押下後、約 1 分 30 秒程度で起動が完了します。

交換機の「Web 設定」画面にログインする

パソコンの Web ブラウザから交換機にアクセスします。

交換機の IP アドレスの初期値は「192.168.1.254」です。

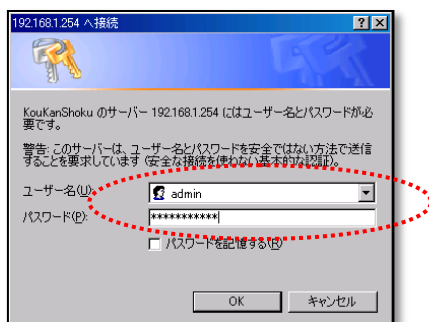
パソコンの Web ブラウザを起動し、次の画面のように、URL に「http://192.168.1.254/」を入力後 Enter キーを入力して下さい。アクセスできない方は、お使いのパソコンのマニュアル等をご参照下さい。




① ご確認下さい

Web ブラウザは Internet Explorer 6 以降をご利用下さい。Internet Explorer の JavaScript が無効になっている場合は、事前に有効にして下さい。

交換機のログイン画面が表示されます。ユーザ名「admin」、パスワード「koukanshoku」を入力して下さい。

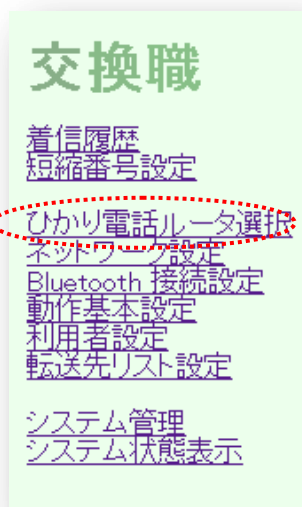


ログインに成功すると、「着信履歴」画面が表示されます。

交換機		着信履歴 					
着信履歴		着信した日時	相手の電話番号	マイ番号	着信した電話番号	通話状況	短縮番号
短縮番号設定						不明	*000
ひかり電話ルーティング						不明	*071
ネットワーク設定						不明	*072
Bluetooth 接続設定						不明	*073
動作基本設定						不明	*074
利用者設定						不明	*075
転送先リスト設定						不明	*076
システム管理						不明	*077
システム状態表示						不明	*078

ひかり電話ルータ選択

交換職の「Web 設定」画面の左側のメニューから、「ひかり電話ルータ選択」を選択して下さい。



次の手順に従い、お使いのひかり電話ルータを選択して下さい。

1. お使いのひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」かどうかを確認し、該当する項目を選択し次へをクリックして下さい

ひかり電話ルータ選択

ひかり電話ルータ	モデル	<input type="radio"/>	この機種は交換職非対応モデルです WBC V110M
		<input type="radio"/>	型番の末尾が「HI」となっている場合はこちらを選択して下さい PR-S300HI / RT-S300HI / RV-S340HI
		<input checked="" type="radio"/>	上記以外のモデルの場合はこちらを選択して下さい RT-200KI PR-200NE / PR-A300NE / PR-S300NE PR-A300SE / PR-S300SE RT-200NE / RT-A300NE / RT-S300NE RT-S300SE / RT-A300SE RV-230NE / RV-A340NE / RV-S340NE RV-230SE / RV-A340SE / RV-S340SE
		<input type="button" value="リセット"/>	<input type="button" value="次へ"/>

2. 設定内容を確認し、設定反映をクリックして下さい

ひかり電話ルータ選択

ひかり電話ルータ	モデル	PR-S300HI / RT-S300HI / RV-S340HI のいずれか 「設定反映」を押した後、「ネットワーク設定」の画面にある IP アドレスが全て正しく設定されているか確認してください。
		<input type="button" value="戻る"/> <input checked="" type="button" value="設定反映"/>

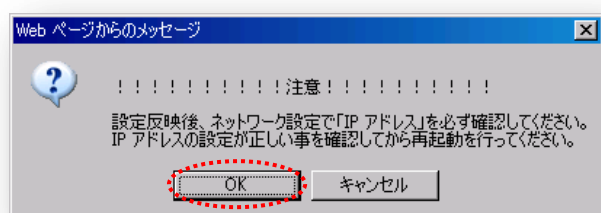
ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」の場合

ひかり電話ルータ選択

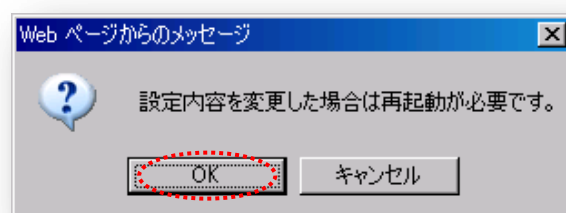
ひかり電話ルータ	モデル	RT-200KI PR-200NE / PR-A300NE / PR-S300NE PR-A300SE / PR-S300SE RT-200NE / RT-A300NE / RT-S300NE RT-S300SE / RT-A300SE RV-230NE / RV-A340NE / RV-S340NE RV-230SE / RV-A340SE / RV-S340SE のいずれか
		<input type="button" value="戻る"/> <input checked="" type="button" value="設定反映"/>

ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」以外の場合

3. ダイアログが表示されるので「OK」をクリックして下さい



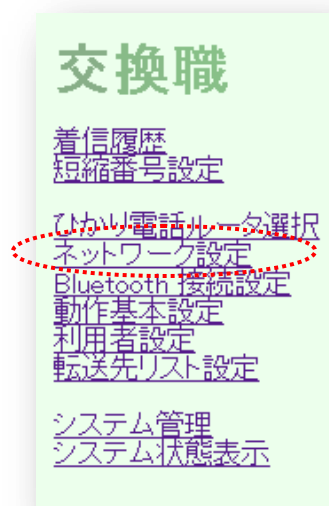
ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」の場合



ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」以外の場合

ネットワーク設定

交換職の「Web 設定」画面の左側のメニューから、「ネットワーク設定」を選択して下さい。



次の手順に従い、交換職のネットワーク設定を行って下さい。

1. 各項目を設定し、次へをクリックして下さい

ネットワーク設定

LAN ポート	IP アドレス1	192.168.1.254
	IP アドレス2	192.168.1.253
	IP アドレス3	192.168.1.252
	IP アドレス4	192.168.1.251
	IP アドレス5	192.168.1.250
	ネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.1.1
外部サーバ	DNS サーバ1	192.168.1.1
	DNS サーバ2	
	NTP サーバ1	ntp.ring.gr.jp
	NTP サーバ2	ntp.ring.gr.jp
メール関連	SMTP サーバ	
	ポート番号	25
	SMTP 認証	<input type="radio"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> 利用しない
	SMTP ユーザ	
	SMTP パスワード	
	SMTP 送信者アドレス	
		リセット 次へ

ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」の場合

ネットワーク設定

LAN ポート	IP アドレス	192.168.1.254
	ネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.1.1
外部サーバ	DNS サーバ1	192.168.1.1
	DNS サーバ2	
	NTP サーバ1	ntp.ring.gr.jp
	NTP サーバ2	ntp.ring.gr.jp
メール関連	SMTP サーバ	
	ポート番号	25
	SMTP 認証	<input type="radio"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> 利用しない
	SMTP ユーザ	
	SMTP パスワード	
	SMTP 送信者アドレス	
		リセット 次へ

ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」以外の場合

●LAN ポート

ひかり電話ルータの IP アドレスを変更していない方は、「IP アドレス」「ネットマスク」「ゲートウェイ」は変更せずに初期値をそのまま利用して下さい。

- ・ IP アドレス（または、IP アドレス 1～5）

交換職の IP アドレスを設定して下さい。

設定する IP アドレスは、ひかり電話ルータと同じネットワークの IP アドレスである必要があります。

なお、ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」の場合は、IP アドレス 1～5 全てに異なる IP アドレスを設定して下さい。

初期値は、ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」の場合は「192.168.1.254 ～ 250」、「HI」以外の場合は「192.168.1.254」です。

- ・ ネットマスク

ひかり電話ルータと同じネットマスクを設定して下さい。

初期値は「255.255.255.0」です。

- ・ ゲートウェイ

ひかり電話ルータの IP アドレスを設定して下さい。

初期値は「192.168.1.1」です。

② ヒント

他にルータ等を設置している等の理由で、ゲートウェイとひかり電話ルータの IP アドレスが異なる場合、ひかり電話ルータの「LAN 側静的ルーティング設定」で、宛先アドレスに「0.0.0.0/0」、ゲートウェイに「ルータ等の IP アドレス」を設定する必要があります。

●外部サーバ

ひかり電話ルータの IP アドレスを変更していない方は、「DNS サーバ」は変更せずに初期値をそのまま利用して下さい。

- ・ DNS サーバ 1

ひかり電話ルータの IP アドレスを設定して下さい。

初期値は「192.168.1.1」です。

- ・ DNS サーバ 2

必要に応じて、DNS のバックアップサーバを設定して下さい。

よくわからない場合は空白に設定して下さい。

- ・ NTP サーバ 1

時刻同期サーバ(NTP サーバ)の IP アドレスを設定して下さい。

初期値は「ntp.ring.gr.jp」です。

よくわからない場合は、初期値をそのままご利用下さい。

インターネットをご利用にならない等の特殊な環境で、時刻を手動で（電話機からの特番操作で）設定する場合は空白にして下さい。

- ・ NTP サーバ 2

必要に応じて、NTP のバックアップサーバを設定して下さい。

よくわからない場合は、初期値をそのままご利用下さい。

●メール関連

通知メール機能を利用しない場合、メール関連の設定は不要です。

・SMTP サーバ

通知メールを送信する時に利用する、SMTP サーバの IP アドレス、またはホスト名を入力して下さい。
この項目にホスト名を利用する場合、DNS サーバを正しく設定する必要があります。

・ポート番号

プロバイダから案内されている、SMTP サーバの利用可能なポート番号を指定して下さい。
SMTP 認証を使う場合などは、サブミッションポートとして「587」を利用する場合があります。

・SMTP 認証

メールの送信時に SMTP 認証(アカウント認証)を利用する場合は、「利用する」を選択して下さい。
「利用する」を選択した場合、以降の 2 つの項目の入力が必要です。

・SMTP ユーザ

SMTP 認証の際に利用する、アカウント(ユーザ名)を入力して下さい。
通常は、メールアドレスと共にプロバイダから指定されたものを入力します。

・SMTP パスワード

SMTP 認証の際に利用する、パスワードを入力して下さい。

・SMTP 送信者アドレス

通知メールを利用する場合、必ず設定して下さい。
SMTP 認証に使ったユーザ名、パスワードで送信が許可される、送信元メールアドレスを入力して下さい。
通常はプロバイダから提供されたメールアドレスをそのまま入力します。

❗ ご確認下さい

TLS などの暗号化通信には対応していません。

❓ ヒント

プロバイダからメールアドレスを取得し、そちらをご利用いただく場合、プロバイダとの契約書等をご確認下さい。指定するアドレスがお手元に無い場合は、フリーメールのアドレスなどを取得してご利用下さい。

2. 設定内容を確認し、設定保存をクリックして下さい

ネットワーク設定

LAN ポート	IP アドレス1	192.168.1.254
	IP アドレス2	192.168.1.253
	IP アドレス3	192.168.1.252
	IP アドレス4	192.168.1.251
	IP アドレス5	192.168.1.250
	ネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.1.1
外部サーバ	DNS サーバ1	192.168.1.1
	DNS サーバ2	
	NTP サーバ1	ntp.ring.gr.jp
	NTP サーバ2	ntp.ring.gr.jp
メール関連	SMTP サーバ	example.com
	ポート番号	25
	SMTP 認証	利用する
	SMTP ユーザ	example
	SMTP パスワード	*****
	SMTP 送信者アドレス	example@example.com
		<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="設定保存"/>

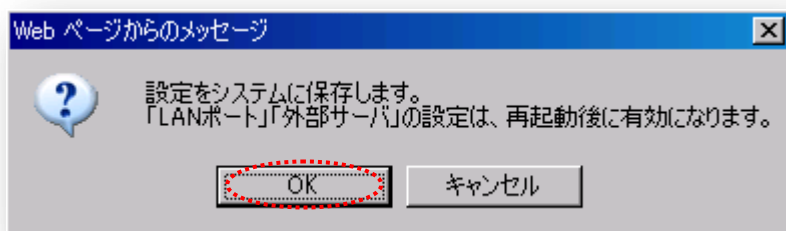
ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」の場合

ネットワーク設定

LAN ポート	IP アドレス	192.168.1.254
	ネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.1.1
外部サーバ	DNS サーバ1	192.168.1.1
	DNS サーバ2	
	NTP サーバ1	ntp.ring.gr.jp
	NTP サーバ2	ntp.ring.gr.jp
メール関連	SMTP サーバ	example.com
	ポート番号	25
	SMTP 認証	利用する
	SMTP ユーザ	example
	SMTP パスワード	*****
	SMTP 送信者アドレス	example@example.com
		<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="設定保存"/>

ひかり電話ルータの型番の末尾が「HI」以外の場合

- ダイアログが表示されるので「OK」をクリックして下さい



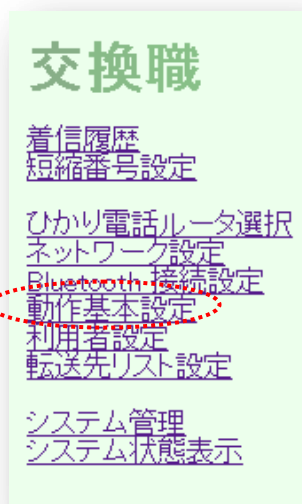
- 交換機を再起動して下さい

「交換機・操作マニュアル」を参照し、システムの再起動を実施して下さい。

再起動が完了したら、設定した IP アドレスにアクセスして設定を継続して下さい。

動作基本設定

交換職の「Web 設定」画面の左側のメニューから、「動作基本設定」を選択して下さい。



次の手順に従い、交換職の基本動作設定を行って下さい。

1. 各項目を設定し、次へをクリックして下さい

動作基本設定

基本動作	全通話を定額プランで発信	<input type="radio"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> 利用しない
	電話機での応答時	<input checked="" type="radio"/> 着信先ガイダンスを利用 <input checked="" type="radio"/> 接続音を再生後、自動で通話開始 <input type="radio"/> 接続音なしで、すぐに通話開始
	転送時の保留音	<input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない
	FAX 受信の検出	<input type="radio"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> 利用しない 検出待ち時間 <input type="text" value="1500"/> ミリ秒
	外線発信時のプッシュ操作	<input type="radio"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> 利用しない 「利用しない」を選択した場合、 外線発信時に「*」を押して操作する転送機能が有効になりますが、 プッシュトーンで操作するサービスがご利用になれません。
	Bluetooth 経由の着信	<input type="radio"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> 利用しない 呼び出す電話機: <input checked="" type="checkbox"/> [電話機1]ポート <input checked="" type="checkbox"/> 200 <input checked="" type="checkbox"/> 201 <input checked="" type="checkbox"/> 202 <input checked="" type="checkbox"/> 203 <input checked="" type="checkbox"/> 204 <input checked="" type="checkbox"/> 205 <input checked="" type="checkbox"/> 206 <input checked="" type="checkbox"/> 207 <input checked="" type="checkbox"/> 208 <input checked="" type="checkbox"/> 209 <input checked="" type="checkbox"/> 210 <input checked="" type="checkbox"/> 211 <input checked="" type="checkbox"/> 212 <input checked="" type="checkbox"/> 213 <input checked="" type="checkbox"/> 214 <input checked="" type="checkbox"/> 215 <input checked="" type="checkbox"/> 216 <input checked="" type="checkbox"/> 217 <input checked="" type="checkbox"/> 218 <input checked="" type="checkbox"/> 219
外部スピーカの利用	<input type="radio"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> 利用しない	
<div>リセット </div>		

●全通話を定額プランで発信

「定額プラン」と設定されている Bluetooth 対応携帯を、通常の発信回線として利用するかどうかを設定します。ひかり電話を利用していない場合や、Bluetooth 接続された携帯を常用の発信回線として利用したい場合は「利用する」に設定してください。

利用する場合	利用しない場合
交換機を使って外線に発信する際の回線として、「定額プラン」と設定された Bluetooth 対応携帯が利用されるようになります。下記のような発信がこれに該当します。 ・[電話機 1]ポートに接続された電話機からマイ番号にダイヤルし、交換機のガイダンスが再生されている間に電話番号を入力した場合 ・IP 内線から電話番号のみをダイヤルし、発信した場合 「利用する」に設定した場合でも、電話番号の先頭に「1*」などを付与してダイヤルすれば、マイ番号を指定してひかり電話から発信することができます。	交換機を使って外線に発信する際の回線としてひかり電話の回線が利用されます。 ただし、以下に該当する場合は設定で結びついている Bluetooth 対応携帯などが発信回線として利用されます。 ・マイ番号の転送先に登録してある携帯電話番号 ・転送先リストに登録してある電話番号 「利用しない」に設定した場合でも、電話番号の先頭に「0*」を付与してダイヤルすれば、「定額プラン」と設定されている Bluetooth 対応携帯を使って発信する事ができます。

② ヒント

「利用する」を選択した場合は、発信先から折り返しの電話があった際に電話を受けられるよう「Bluetooth 経由の着信」も合わせて「利用する」に設定してください。

●電話機での応答時

[電話機 1] ポートに接続したアナログ電話機で着信に応答した時の動作を設定して下さい。

なお、本設定は IP 内線で着信に応答した時の動作にも適用されます。

・着信先ガイダンスを利用

液晶のないアナログ電話機を利用する場合で、通話開始前にどのマイ番号宛の着信かを知りたい場合、「着信先ガイダンスを利用」に設定してください。電話機で応答した時、「マイ番号 X 宛」というガイダンスが流れ、どのマイ番号への着信かをお知らせします。

ガイダンスの再生中に、電話機のプッシュボタンで次の操作ができます。

「1」を押す: 応答

「2」を押す: 転送や留守電などに回す

「3」を押す: タイムアウトを延長する

・接続音を再生後、自動で通話開始

電話機で応答した時「ピッ、ピッ、ポーン」という音が再生されてから相手との通話が開始されます。「ピッ、ピッ、ポーン」が再生されている最中に切断を行えば、携帯や留守電などの次の処理に回す事ができます。この時、電話をかけてきた相手側は呼び出し状態のままになるので、応答してから切断した事はわかりません。

この設定の場合、アナログ電話機の液晶表示や着信音で、どのマイ番号宛の着信かを確認します。

・接続音なしで、すぐに通話開始

電話機で応答した後すぐに通話が始まります。通話開始後 4 秒以内に電話を切断すると、携帯や留守電などの次の処理に回す事ができます。この設定の場合、交換機を導入していない時と同じような操作感になりますが、4 秒以内の切断で次の処理に回した場合には、電話をかけて来た相手側の呼び出し音は一度途切れて、転送先携帯の呼び出し音などに切り替わります。

また、この設定では、アナログ電話機の液晶表示や着信音で、どのマイ番号宛の着信かを確認します。

●転送時の保留音

転送を開始したタイミングで、転送中の保留音を流すか流さないかを設定して下さい。

呼び出しが長くて電話に応答する前に切断されることが多い場合、利用するに設定することをお勧めします。

利用する場合	利用しない場合
転送を開始したタイミングで、転送中の保留音を流します。 電話をかけてきた相手には、転送を開始したタイミングから通話料金が発生します。	携帯電話への転送に切り替わっても、相手に聞こえる呼び出し音は変化しません 電話をかけてきた相手には、携帯電話や留守電が応答するまでは、通話料は発生しません。

●FAX 受信の検出

FAX 検出機能を利用して、FAX を受信する場合は「利用する」にチェックを入れて下さい。

FAX 検出機能は、かかってきた電話が FAX だった場合、転送等の処理をキャンセルして FAX 機器を呼び出す機能です。1 つの電話番号で、携帯電話への転送と FAX を利用する場合に有効な機能です。詳細は、「交換職・設定マニュアル（導入・設置編）」の「着信時の動作について」を参照して下さい。

利用する場合	利用しない場合
<p>FAX を検出すると、転送をキャンセルして FAX 機器を呼び出します。FAX は次のタイミングで検出します。</p> <ul style="list-style-type: none">・「転送時の保留音を流すタイミング」・「転送先の電話機で通話を開始するタイミング」・「交換職の留守番電話が応答したタイミング」 <p>また、検出待ち時間を調整して下さい。初期値は 1500 ミリ秒です。転送時の保留音を「利用する」に設定しても FAX が携帯電話に転送さる場合、この時間を 300～500 ずつ増やし、FAX が携帯電話に転送されない時間に調整して下さい。</p> <div><p>② ヒント</p><p>「検出待ち時間」は、転送時の保留音を利用するとき、「交換職」が応答してから転送時の保留音を流しはじめるまでの遅延時間です。この待ち時間に FAX を検出できれば、転送先の携帯電話は呼び出されません。</p></div>	<p>FAX 検出機能が無効になります。</p>

●外線発信時のプッシュ操作

外線発信時に、プッシュトーンの操作を行うかどうかを設定します。

ご注意下さい

本設定に関わらず、IP 内線からは一部のサービスでプッシュ操作ができない場合があります。IP 内線からプッシュ操作ができない場合は、アナログ電話機をご利用下さい。

利用する場合	利用しない場合
外線発信時に応答後転送機能（「*」を押して操作する転送機能）をご利用にならない方は、こちらの設定にしてください。	外線発信時に応答後転送機能（「*」を押して操作する転送機能）をご利用される方は、こちらの設定にしてください。 なお「利用しない」に設定した場合でプッシュ操作を行う場合は、マイ番号に発信して「交換職」が応答後にダイヤルする番号の最初に「9」を付けて下さい。 【最初に「9」を付ける例】 マイ番号（1～5）にダイヤルして「交換職」が応答後、次のように「9」を付けてダイヤルして下さい。 <ul style="list-style-type: none">・「903-1234-5678」・「9*001」

●Bluetooth 経由の着信

転送用回線として交換職に Bluetooth 接続されている携帯電話に着信があった場合の動作を設定します。

利用する場合	利用しない場合
マイ番号の転送先に登録してある携帯電話から、交換職に Bluetooth 接続された携帯電話に着信があると、「呼び出す電話機」にチェックを入れた電話機が鳴ります。 Bluetooth 接続された携帯電話が「定額プラン」と設定されている場合は発信者番号にかかわらず着信動作を行います。その他の携帯電話会社に設定されている場合は転送先として登録してある電話番号のみ着信を受け付けます。	交換職に Bluetooth 接続された携帯電話にかかってくる全ての着信について、自動的に切断処理が行われます。

ご注意下さい

Bluetooth 対応携帯が「定額プラン」に設定されていない場合、マイ番号の転送先に登録してある携帯電話以外からの着信は、設定に関わらず自動的に切断されますのでご注意ください。

●外部スピーカの利用

交換職に接続したスピーカの動作を設定します。

利用する場合	利用しない場合
<p>マイ番号の転送先に登録してある携帯電話から Bluetooth 接続された携帯電話に着信があると、「マイ番号 1 からお電話が入っています」の音声スピーカから再生されます。</p> <p>この機能を利用するためには、交換職に外部スピーカを接続する必要があります。</p>	<p>交換職のスピーカ端子からの音声信号は、一切出力されなくなります。</p>

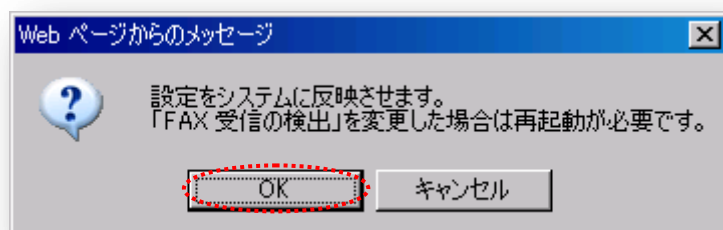
2. 内容を確認し、設定反映をクリックして下さい

動作基本設定

基本動作	全通話を定額プランで発信	利用する
	着信先ガイダンス	接続音を再生後、自動で通話開始
	転送時の保留音	利用しない
	FAX 受信の検出	利用しない 検出待ち時間 1500 ミリ秒
	外線発信時のプッシュ操作	利用しない 外線発信時に「*」を押して操作する転送機能が有効になりますが、プッシュトーンで操作するサービスがご利用になれません。
	Bluetooth 経由の着信	利用する 呼び出す電話機 [電話機1]ポート 200, 201
	外部スピーカの利用	利用しない

戻る 設定反映

3. ダイアログが表示されるので「OK」をクリックして下さい



4. 「FAX 受信の検出」の設定を変更した場合のみ、設定を有効にするために「交換職-操作マニュアル」を参照し、システムの再起動を実施して下さい。

「FAX 受信の検出」の設定を変更していない場合、再起動は不要です。

以上